NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会 会報 No.65 2013.5.20

やませみ

【報告】珍獣ヤマネが飯能に生息！

【特別寄稿】
開発から森づくりへの転換

- ●沼田眞賞授賞式で記念講演
- ●ネオニコチノイド系農薬 ～本と映画の紹介～
- ●谷津田でおもしろ体験エコツアー
- ●ホタル観察に寄せて
- ●テラコッタづくり
- ●ふる里散歩
- ●第２回里山バザール開催

当会のホームページへどうぞおいでください！http://www.tenranzan.com/

ふる里散歩

天覧山周辺の自然に親しめるふる里散歩へ、どうぞふるってご参加ください。

6/30 日 「ホタル観察会」の巻

今年のホタルとの出会いはどうでしょうか…たくさんの小さな光に出会えるといいですね。
集　合/能仁寺山門前　午後７時
持ち物/懐中電灯、山道を歩ける服装、雨具
要申込/先着30名
申込先/てんたの会　042-974-1691(浅野)
参加費/300円（小学生以下100円）
★小雨決行

7/21 日 「ミクロの生態系 ――コケ観察会」の巻

最近密かに人気の、最古・最小の植物『コケ』その知られざる不思議な世界をのぞいて見ませんか。飯能河原周辺を廻ります。
集　合/飯能駅南口　午前9時集合
（解散:12時）
要申込/先着20名　ルーペ持参のこと
申込先/さいたま緑のトラスト協会
048-824-3661（7/1～受付）
参加費/300円（協会会員無料）
★雨天実施

夏休み親子企画 8/4 日 「川のいきもの、おもしろ観察エコツアー」の巻

対　象/子ども（小学生以上）対象
ガイド/日本生態系協会　市川和男さん
集　合/飯能市郷土館前　午前9時半
（解散:13時頃）
持ち物/川を歩ける服装（運動靴で）
着替え、飲み物・お弁当
要申込/先着15名
申込先/てんたの会　042-974-1691(浅野)
参加費/1000円（大人、子ども共）

9/8 日 「秋の虫を探そう」の巻

天覧山周辺にはたくさんの昆虫が生息中。どんな虫と出会えるか楽しみですね！
集　合/能仁寺山門前　午前9時半
申し込み/不要
持ち物/飲み物・お弁当・山道を歩ける服装
参加費/300円（小学生以下100円）
★雨天中止

【エコツアー以外共通　共催/はんのう景観トラスト・埼玉県生態系保護協会飯能名栗支部・はんのう市民環境会議】

キマエアオシャクの幼虫

「ほとけどじょうの里」で第2回里山バザール開催します!!

秋の一日、石窯の周りで開く“森の市”を楽しみませんか！
詳細は後日チラシやＨＰでお知らせする予定です。
日　時/10月20日（日）午前11時～午後3時
会　場/東谷津トラスト地「ほとけどじょうの里」
（アトム像のある公園を通り、天覧山登り口で右手に折れて直進100m）
連絡先/詳細問い合わせや出店希望の方は042-977-1890(早瀬)までご連絡ください。

出店者を募集中!!!
☎ 042-977-1890(早瀬)
★雨天の場合については、現在検討中。

やませみ 65
発行日/2013年5月20日
編集・発行/NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会
事務局/TEL042-974-1691(浅野正敏)
埼玉県飯能市柳町18-17

- ●機関誌「やませみ」は「銀河堂」「ロビングッドフェロー」「丹三郎」にあります。
- ●「やませみ」へのご意見をお寄せください。投稿もお待ちしています。

URL=http://www.tenranzan.com/
E-mail=tenta@tenranzan.com

ハミスジエダシャクの幼虫

会員募集中!!

1995年、巨大住宅団地開発の計画がきっかけで発足した「NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会」は、この地の自然をいつまでもという思いで、様々な活動を続けています。どうぞあなたも会員になって活動を支えてください。

＊年会費　●正会員……普通会員 2,000円
特別会員10,000円
●賛助会員……１口10,000円
＊会費・カンパ送り先…郵便振替口座 「NPO法人 天覧山・多峯主山の自然を守る会」00580-9-16342

デザイン・イラスト 石田眞由美

天覧山・多峯主山の自然を守る会HP　http://www.tenranzan.com/

谷津田でおもしろ体験 エコツアー

（会員 沼田三男 談）

今回のツアーは「谷津田でおもしろ体験エコツアー」というタイトルで、新割り、じげ作り、草のいっぷ作り、ガイドウオークというのプログラムで春の谷津田を半日めいっぱい楽しむ企画でした。

市内から5組の家族にご参加いただけた。東谷津は子供の声で賑わいました。じげ作りが大人気で、みなさん思い思いのじげを作り上げていました。石窯から出すピザ供たちが大変喜んで走り寄ってくるので、スタッフは火傷しないようにヒヤヒヤしたこと。

意外な人気だったのは新割りです。ある小学校低学年の女の子は、最初は学童まで行って新を撫でるようにしか振れなかったのですが、3時間の間にかなり上達！振り下ろしの際、斧にうまくまかるようになった。こんな振り方を大人は教えないので自分で工夫して編み出したんだなと感心しました。

長年の大きなヒノキを切り倒すのは、人の発掘です。東谷津という最高のクオーリアがあるから、私は人の発掘をしていきたいと思います。今回は大石草さんに草のいろいろやりかたを教えていただきました。ツタ作りやいろいろな技術や知識を持った会員の方々がまだまだいっぱい居ます。

自然と人の関わりの中で、身につけた技や知識をたくさんの会のエコツアーで伝えていくことが、この地域を大事にしていく中間を増やしていきましょう。

木々は観察に寄せて

30年前の夏のある日、知人に誘われて木々は観察会に参加した。街灯一つ無い小川沿いの道を、山の奥を目指して歩いて行った。懐中電灯も持たず、星明かりだけを頼りに、夜行性の獣にでもなったつもりで、目を凝らして進んだ。風も無く、むしむしと蒸し暑い夜だった。道の両側の木々は、うっそうと葉を茂らせ、参加者の上に覆いかぶさるようにしてトンネルを作っていた。なぜか皆が無口で、しかし期待にわくわくして、緊張した面持ちで、心と目がやっと慣れた時、一本の大きな木がまるでクリスマスツリーのように輝いているのが見えた。●1年のうちのほんの数日だけ咲かされる、木々たちの光の会話。飛びながらあるいは、木の葉や草の陰にじっとしながら明滅を繰り返す。同じ環境の中に生息する、違った種類の木々にでも、相手を間違えることなく、パートナーを見つけ出す。毎年繰り返される、種を残すための神秘的なドラマだと思う。●木々は観察は、こんな木々たちの様子を、私たちがそっと楽しませてもらうものだ。人間が観察に入ることで、その生息環境も含め、木々の存続を脅かすものであってはならない。今年も間もなく木々の季節がやってくる。いつまでもこの環境が残されるよう、木々を見に行く もの一人ひとりが、思いやりを持って出かけてもらいたい。

（埼玉県生態系保護協会　飯能名栗支部長　黒住浩次）

① 自然を守るために

- 木々の成虫、幼虫を捕らないこと
- 他所から木々やカワニナ等を持ち込まないこと（他所から持ち込んだものは、すべて広い意味で外来種です）
- 喫煙、花火等は行わないこと（山火事を出さないために）

② 自身を守るために

- 木々観察では、長袖、長ズボン、（長)靴で。ヤンマ(ハ)は危険です。
- 草むらに入り込まないこと（マムシやハチ、ダニ、蚊などもー緒に生息しています）

③ 皆で楽しく木々観察するために

- 懐中電灯等、照明の使用は控えること

暗さに目を慣らしてこそ、木々観察がより楽しいものになります

ナラタケづくり

昨年の春から、メンタルな病を お持ちの方の生活支援作業所“ヒマワリ”の皆さんと、テラコッタ（素焼きの彫刻）作りをはじめました。

かつて“飯能焼き”のエを採取したと伝えられている所に隣接する、この谷津田の里での粘土取りが作業始めとなった。この土を手で捏ねた異物を除き、練り上げ、お地蔵様、動物、顔のレリーフなど、みんなで作りたいものを選び、ヒラヅノ作業所での粘土細工を続けた。

秋になって、それまで作ったものも沢山になり、焼き物をするのに良い季節となった。私たちは出来上がった作品を持って再びほとけどじょうの里を訪ねた。ここには“てんたの会”の手作り石窯があり、じげやパンやいろいろな焼き物を薪で焼いている。私たちは作品を石窯に入れ、薪を焚いて一日過ごした。こんな風にして、素材から道具、そして制作の時も場も、みんな自分たちの手作りで、テラコッタは焼きあがった。

（会員・彫刻家　早瀬成憲）